

富山県道路安全・円滑化検討委員会

安全走行阻害箇所関係 説明資料

— 目 次 —

- | | |
|----------------------|----|
| 1. これまでの経緯 | P1 |
| 2. 取り組み事例 | P2 |
| 3. フォローアップについて | P3 |

平成25年 7月4日

安全走行阻害箇所について

1. これまでの経緯

- 1) 富山県道路改善計画では、富山県道路安全・円滑化検討委員会を、これまで計5回開催。
(平成20年度：2回 平成22年度：1回 平成24年度：2回)
- 2) 安全走行阻害箇所は、平成20年度から必要に応じて登録区間を追加。

富山県道路安全・円滑化検討委員会

平成20年12月24日

- ・安全走行阻害箇所選定の考え方の確認
- ・パブリックコメントの実施方針の確認

平成21年3月25日

- ・パブリックコメントの実施結果の報告
- ・新たな安全走行阻害箇所抽出（案）の策定

平成22年6月30日

- ・安全走行阻害箇所の決定
- ・次年度以降の進め方の検討

平成24年7月11日

- ・安全走行阻害箇所の実施状況報告

平成24年12月25日

- ・安全走行阻害箇所の実施状況報告

平成25年7月4日

- ・安全走行阻害箇所の実施状況報告
- ・フォローアップルールについて

安全走行阻害箇所 登録区間数

平成22年度 | 127区間

30区間追加

平成23年度 | 157区間

54区間追加

平成24年度 | 211区間

安全走行阻害箇所について

2. 取り組み事例(国道160号 氷見市泊(とまり)地区)

- 1) 国道160号 氷見市泊地区では、平成24年度に通学路合同安全点検を実施、「歩道整備」が必要な問題箇所とされた。
- 2) 同じく平成24年度、同地区がアンケート意見から安全走行阻害箇所として登録。
- 3) 交通事故対策と通学路の安全性向上双方の視点から、「歩道整備」「車線逸脱防止策」を立案し、事業を推進中。

位置図



危険な状況



路肩を歩く歩行者を避けて中央線をはみ出す大型車



スクールバス乗り場まで路肩を歩く通学児童

【通学路合同安全点検】氷見市立海峰小学校

実施日時：平成24年8月24日（金）14:30～15:30

実施場所：国道160号氷見市泊

参加団体：氷見市教育委員会、氷見警察署、氷見土木事務所、氷見市、富山河川国道事務所交通対策課

【安全点検の様子】



通学路合同安全点検、事故発生要因分析それぞれの結果を踏まえた対策(案)

【通学路緊急点検結果】

- ・ 歩道がなく、危険。

【対策(案)】

- ・ 歩道整備

【事故発生要因分析結果】

- ・ 急カーブ・狭幅員、歩道がないことによる車線はみ出し。
- ・ 急カーブ・狭幅員による視認性不良。

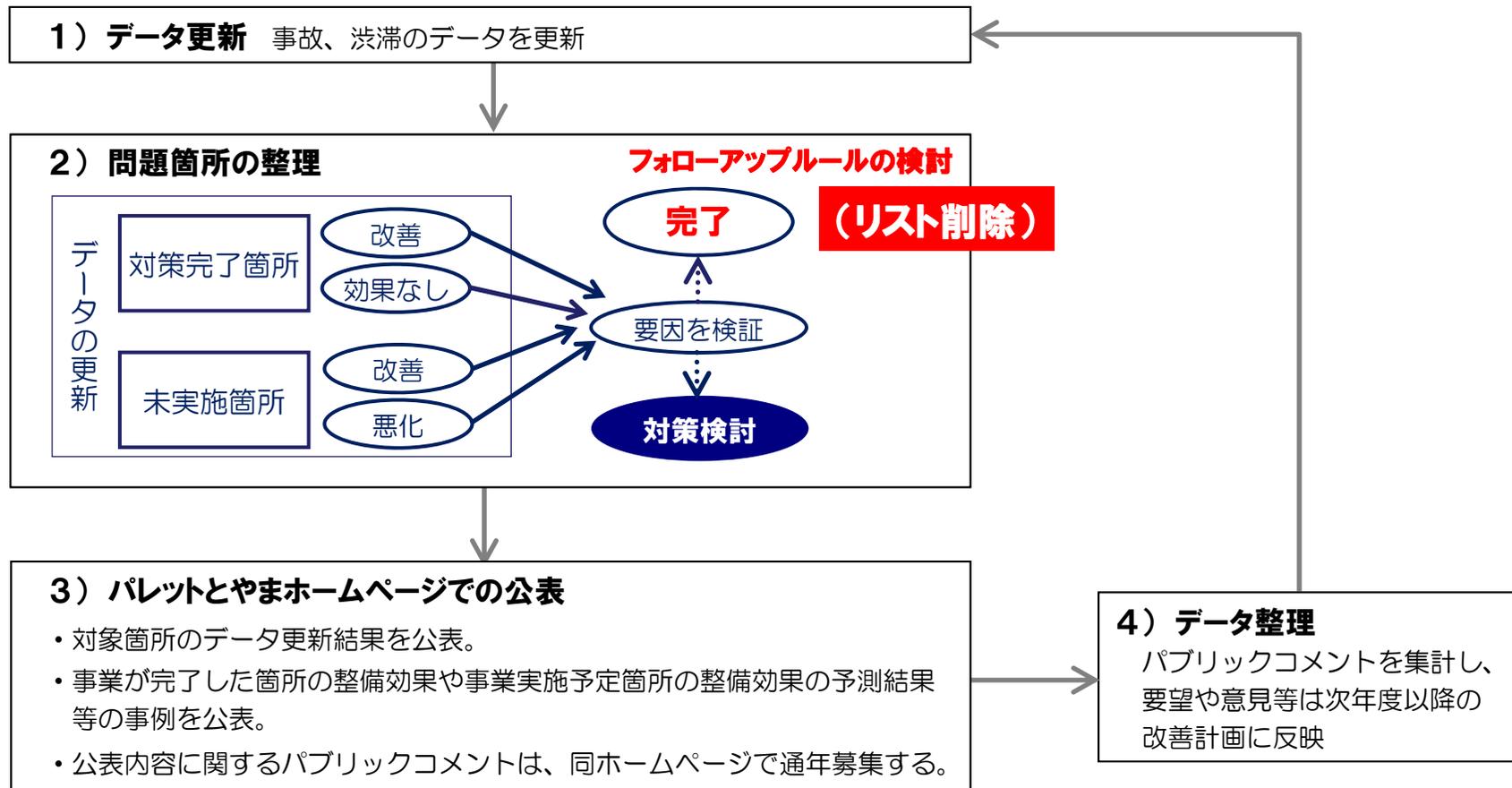
【対策(案)】

- ・ 歩道整備（重複）
- ・ 車線逸脱防止策

安全走行阻害箇所について

3. フォローアップについて ~今後の進め方~

- 1) 道路改善計画では、毎年、事故・渋滞データを更新。
- 2) ・事故・渋滞の推移（改善・悪化）を確認し、その要因を検証。
 - ・問題が解消した箇所は**対策完了（リスト削除）**、効果が無かった箇所や状況が悪化している箇所は対策を検討。
- 3) データの更新結果及び対策を実施した箇所の事例は、ホームページ等で公表。
- 4) パブリックコメントはホームページで通年募集し、要望等の意見は次年度以降の改善計画に反映。



安全走行阻害箇所について

3. フォローアップについて ~安全走行阻害箇所のフォローアップ 実施フローと対象箇所数~

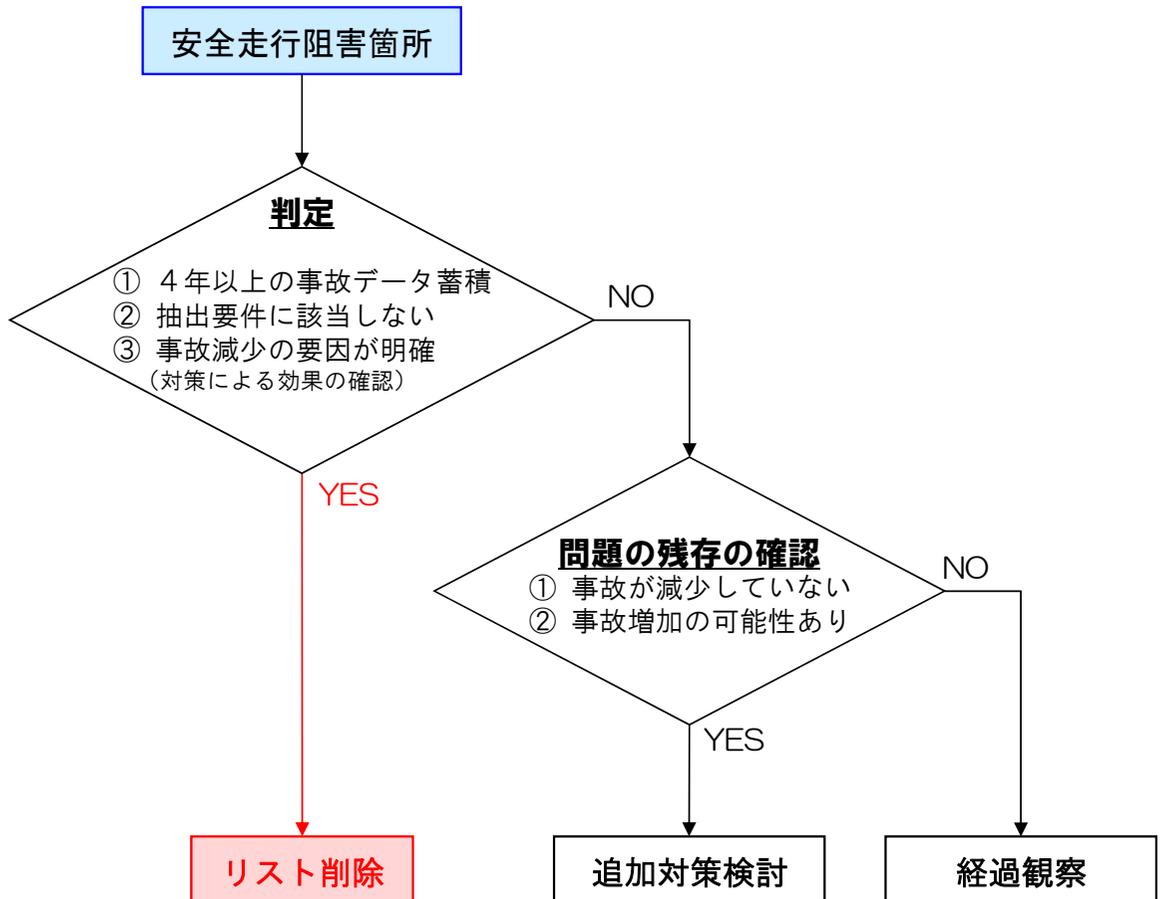
1) データ更新の結果、以下の条件を満たす箇所については、安全な走行空間が確保されたものとみなし、安全走行阻害箇所リストから削除（登録解除）。

- ① 4年以上の事故データで ② 抽出要件に該当せず、 ③ 事故が減少した要因が明確（対策の有効性が確認）された箇所。

2) 今年度のフォローアップ対象箇所数は、安全走行阻害箇所211箇所中98箇所、うち評価対象箇所は13箇所。

3) 評価対象箇所のうち、事故減少の要因が確認できた箇所について、リストから削除。

【フォローアップ実施フロー】



〔安全走行阻害箇所 抽出要件〕

- ・事故多発箇所: 死傷事故率100件/億台km以上
かつ重大事故率10件/億台km以上
かつ死傷事故件数1件/年以上
- ・事故危険箇所: 死傷事故率100件/億台km以上
かつ重大事故率10件/億台km以上
かつ死亡事故率1件/億台km以上

【フォローアップ対象箇所数】

	安全走行阻害箇所		
		うち対策 実施箇所	うち評価 対象箇所
直轄国道	100	26	0
県管理道路	111	72	13
合計	211	98	13

※対策実施箇所数はH25. 3月末時点

安全走行阻害箇所について

3. フォローアップについて ~フォローアップの事例~

- ① 安全走行阻害箇所は211箇所中、うち98箇所に対策を実施。
- ② 対策実施箇所中、対策後の事故データ2年以上蓄積箇所は13箇所。

【事例1 国道8号 黒部市 田家新～前沢地先】

○多発する事故と事故発生要因

- ・発生する事故9件のうち4件が追突事故（H18-H21）。うち3件が上り線で発生。
- ・長い直線区間で、速度超過・漫然運転を誘発。
- ・糸魚川側の前沢西交差点の滞留車列が当該区間まで延びており、速度超過・漫然運転となった車両が滞留末尾に追突。

○実施対策：ドットライン・路面標示（追突注意）（H22）

【対策前】



前沢西交差点から
伸びる滞留車列

【対策後】



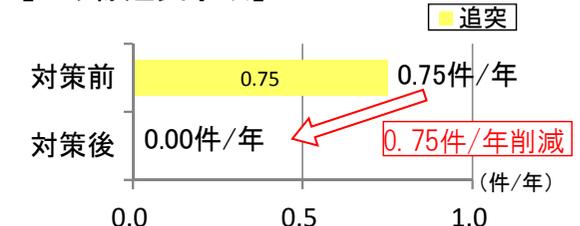
ドットライン
路面標示

○対策前後の事故件数

【全事故】



【上り線追突事故】



○今後の方針

対策後1年間では、対策前と比較して死傷事故は減少。

H24以降（対策後4年間）同様の状況が続いた場合には、リスト削除とする。